

＝2025 年＝

新年のご挨拶

一般社団法人 日本配電制御システム工業会
会長 国分 直人

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

年頭にあたり、平素より当会にお寄せいただいております皆様方の温かいご指導とご支援に対し、心から御礼申し上げます。

さて、国内経済は、一部に足踏みが残るものの、企業の設備投資に持ち直しの動きがみられる等、緩やかに回復しています。経済産業省の生産動態調査では、開閉制御装置の2024年度上期の生産金額は3,073億円で2023年同月比+9.4%です。2023年度の実績は6,673億円で2022年度比+10.5%でしたので、2年連続で生産金額の伸長が期待されます。

老朽設備の維持・更新投資のほか、研究開発投資やデジタル・トランスフォーメーション（DX）推進をはじめとした情報化投資、Eコマースの拡大を背景とした先進物流施設などの建設投資、脱炭素に向けた環境対応投資など、昨今重要性が高まっている投資への需要増加から、引続き設備投資は堅調さを維持していくものと思われま

一方、2024年4月から建設業・物流業への時間外労働の上制限の適用が開始されたこともあり、業務の効率化に取り組むことが、これまで以上に求められています。

また、2024年度に入ってから、配電制御機器メーカー各社から相次いで改定率が大きい価格改定が発表されました。世界的なインフレや物価高も続いていますので、当会会員各社では製造コストの更なる上昇が避けられない状況にあります。

かかる状況下、当会では所轄官庁をはじめ各関係先に対して現状を説明するとともに協力を要請してまいりますので、皆様方にはこれまで以上のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健康とご多幸をお祈りしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。